

知ると
もっと見えてくる
福島市

1

福島市の歩み

明治 40 年、人口わずか 3 万人の小さな城下町として、福島市は産声をあげました。以来 100 年にわたり、周辺の農村、温泉地、山間集落を迎え入れながら、その輪郭を広げてきました。合併のたびに加わったのは、面積や人口だけではありません。飯坂・土湯・高湯の温泉資源、その裾野に広がる果樹地帯と美しい田園風景。さらに立子山や飯野からは阿武隈山地の暮らしと文化も加わり、多様な気候、風土、人がミックスされ、そのたびに新しい個性と魅力をまといながら、この街は成長し、歩んできました。



知ると
もっと見えてくる
福島市

2

日帰り圏

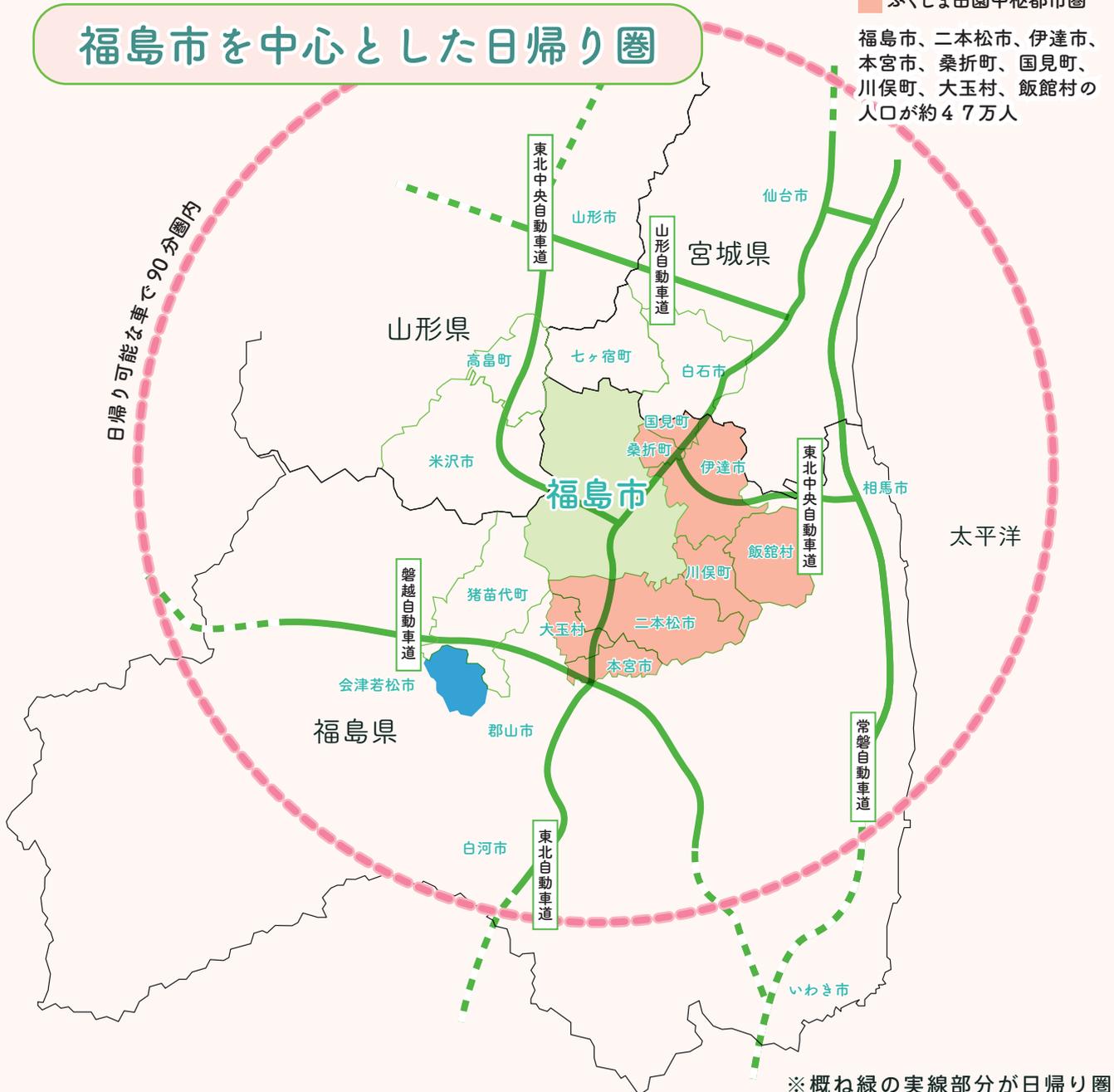
335万人の都市力。

福島市は、東北自動車道と東北中央自動車道が交わる高速交通網の結節点に位置しています。福島市からクルマで90分以内にアクセスできる日帰り圏人口は約335万人。これは実は、札幌市の日帰り圏人口約300万人を上回る規模です。仙台、山形、郡山といった南東北の主要都市圏をすべてカバーし、東北中央道の開通により米沢方面、太平洋側へのアクセスも飛躍的に向上。古来より、奥州街道と羽州街道が分かれる交通の要衝として栄え、現代の高速交通網においてもその地理的優位性は増しています。

福島市を中心とした日帰り圏

■ ふくしま田園中枢都市圏

福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村の人口が約47万人



※概ね緑の実線部分が日帰り圏

人口

もし福島市が100の街だったら？

データには、「甘い」「辛い」だけでなく、
複雑で奥深いうま味があります。
煮たり、焼いたり、生で食べたり、
色々な調理法でデータのおいしさを
最大限に引き出すことが大切です。
福島市の様々な姿を100で表した
「もし100」も、そんな調理法の一つです。
皆さんも、データブックの素材を使って、
たくさん調理してみませんか？

2

世帯構成

参照グラフ：#7

100世帯の街だったら

親子、夫婦のみ（核家族世帯）・・・ 53世帯
一人世帯（単独世帯）・・・ 37世帯
3世代同居世帯など・・・ 10世帯
（核家族以外の世帯など）



1

年齢構成

参照グラフ：#1, #5, #9, #19, #28

100人の街だったら

こども世代（0～14歳）・・・ 11人
主に働く世代（15～64歳）・・・ 58人
お年寄り世代（65歳以上）・・・ 31人

そのうち、

男性 …………… 49人
女性 …………… 51人
うまれた赤ちゃん…………… 0.7人
小学生…………… 5人
中学生…………… 3人
結婚している人…………… 59人
世帯数…………… 45世帯
うち、持ち家の世帯・・・ 27世帯

※直近の国勢調査実施年の結果を基に算出



NEXT

くらし

もし福島市が100の街だったら？



1

仕事の内容

参照グラフ：マッピング⑥～⑧

働いている人が
100人の街だったら

農業など自然を相手にする仕事
第1次産業・・・4人

製造業などものを作る仕事
第2次産業・・・23人

小売業などものやサービスを提供する仕事
第3次産業・・・73人

2

事業所

参照グラフ：#48

事業所が100ある街だったら

スーパー、コンビニなど・・・25事業所

飲食店、ホテルなど・・・11事業所

建設会社の事務所・・・10事業所

病院、介護施設など・・・9事業所
など

3

高校卒業後の進路

参照グラフ：#39

高等学校卒業者が
100人だったら

大学進学・・・60人

専修学校等入学者・・・17人

就職者・・・19人
など



BACK